

戦争法案に反対声明

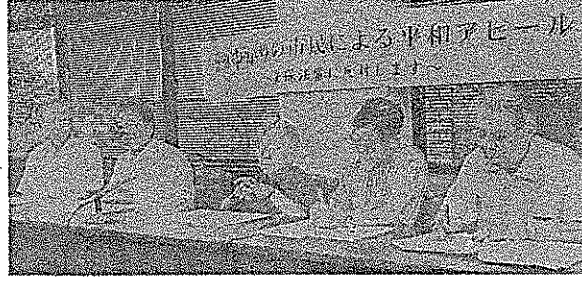
市民・子どもも犠牲に

愛知ゆかりの市民アピール

竹下景子氏の
コメント紹介

ノーベル賞受賞者の益川敏英氏や女優の竹下景子氏ら、愛知ゆかりの市民による「安保法案反対アピール」が25日に発表されました。

愛知県弁護士会館での会見には、天野鎮雄



愛知市民アピールの会見をする(左から)池住、天野、水田、澤田、内河の各氏。25日、愛知県弁護士会館

(俳優)、池住義憲(元立教大大学院教授)両氏が出席。天野氏は「僕は司会者をやっているが、一番許せないのは総理の席からやじを飛ばすこと。司会者は人の話を聞くのが仕事だ」とのべました。会見では竹下景子氏のコメントが紹介されました。竹下氏は「か

つて文化や芸術が戦意高揚の手段として用いられ、その一方で自由な思想や表現が弾圧を受けた事実を記憶しています。日本を二度とそのような国にはなりません。安保法案に強く反対します」としています。

判決に反するとんでもないことだ。民意を反映しない、ゆがんだ選挙で多数を得た自公が数の暴力で進めようとしているのが戦争立法だ」と批判しました。

アピールでは「安保法案が成立すれば愛知が戦争の加害の拠点となり」、「日本全土、特に愛知県は攻撃にさら

され多くの市民、子どもたちが犠牲になる」と批判しています。

賛同人には石坂啓(漫画家)、内河恵一(弁護士)、梅原猛(哲学者)、澤田昭二(名古屋大名誉教授)、水田洋(名古屋大名誉教授)、つボイノリオ(シンガーソングライター)の各氏らが名を連ねています。